

7月2日	火	13:30 ～ 15:00	<p><b>口腔ケア事業 事前評価</b>  <b>場所：特別養護老人ホーム南山苑</b></p> <p>7月8月9月の3か月にわたり、口腔ケアの研修が始まります。          研修が始まるまでに、了解のとれた入所者様28名に、          BDR指標評価（口腔ケア自立度判定）と3項目の口腔内の評価を実施しました。          同席された南山苑の辻本師長さんも4月に着任したとき、口腔内をきれいにケアされていると評価されていました。          苑内の改修工事もほぼ完成し、建物内がきれいになるとともに、入所者様の口腔内も更にきれいになるように一緒に努力しましょう。</p> 
7月12日	金	14:00 ～ 16:00	<p><b>口腔ケア事業 事前評価</b>  <b>場所：介護老人福祉施設やまぼうし</b></p> <p>7月2日記 南山苑と同じく、7月8月9月の3か月にわたり、口腔ケアの研修が始まります。          研修が始まるまでに、了解のとれた入所者様52名に、          BDR指標評価（口腔ケア自立度判定）と3項目の口腔内の評価を実施しました。          もちろんですが、怖がり嫌がる方もおられますので、無理強いには致しません。          同行して下さった職員様は男性でしたが、一人ひとりにあった呼びかけをして、リラックスしていただけるよう常に話しかけてくださいました。「細かいことはフロアスタッフに任せている」とのことですが、全員の名前を記憶しておられ、すごいリスク管理だなと思いました。3か月間よろしくお祈りします。</p>
7月16日	火	13:30 ～ 14:10	<p><b>診療所内カンファレンス</b>  <b>場所：阪中外科 7名参加</b>          4症例のカンファレンスを実施</p> <p>高齢者の交通事故が増えている中、院長から高齢者の自動車運転免許の話がありました。認知症が確定すれば、道路交通法の規則上、医師として意見書を求められる。しかし、認知症ではなく、一定の出来事に興味なくなったり、計算能力だけが低いとき医師としては「運転は危険」と判断できない。交通の不便が悪いこの地域で、運転免許を取りあげてしまうことが、その方の生活にどんな負担を課するかをわかっているからこそその意見だと思いました。でも、後になってもっと大きな負担にならないよう、医師は知れた事実を隠すことなく警察に報告する。そのうえで警察が正しく判断をし、困っている方が多いことを行政などに訴えて、また介護も巻き込んで、最終的に高齢者を守る結果になればいいですね。          &lt;前田センター長から&gt;          政府が6月18日に決定した認知症施策推進大綱で「共生」とともに「予防」を目標に掲げ、予防法の確立に国を挙げて取り組む方向である。その中には・・・安全運転機能付きの自動車の運転制度創設に向け、本年度内に方向性を得る・・・とある。ただ、運転免許返納や取り上げるのではなく、そのあとの生活だけでなく社会参加にも配慮できるような仕組みを期待したい。</p>
7月17日	水	14:00 ～ 15:00	<p><b>診療所内カンファレンス</b>  <b>場所：松岡医院 11名参加</b>          5症例のカンファレンスを実施</p> <p>今回は、ケースカンファレンスの中で発言されたケアマネジャー（CM）の仕事の範囲について気になりました。          例えば行政や金融機関との連絡、直接的なケアの実施、救急車の同乗・承諾書などの書類の代筆等、本来の業務範囲ではないところまで実施してしまっていること。CM自身が役割ではないと理解しながらも、本人や家族の利便性を重視し、やむを得ず他職種と家族の隙間を埋めるしかない現状。また、同じ事業所内でも個人の判断で行われていること。          しかし、利用者のリスク管理、法的な規則の面から考えると、何らかの処置を講じておく必要がある。          今は、包括がCMの相談相手となり同行するなど支援していただけているようですが、同じことがどの職種にも言えます。自分のこととして一度考えてみてください。</p>

<p>7月18日 木</p>	<p>15:00 ～ 16:00</p>	<p><b>口腔ケア事業 第1回 研修会 口腔ケアの基礎知識（講義）</b>  <b>場所：特別養護老人ホーム 南山苑</b>                  講師：伊都歯科医師会 加藤歯科医院 加藤大太郎先生                  参加者：合計20名（施設内12名 施設外4名 協力歯科医師4名）</p> <p>口腔ケアの目的から始まり歯周病が全身に及ぼす影響、義歯の保管など事前にいただいた質問を盛り込んだ内容でした。自腹で購入された「ハッピーオーン」や「Oかうけ」を口に入れて、片方のほっぺを引っ張って・・・噛めますか？など体験しながらの講演であつという間でした。帰りは、梅雨末期の大雨。高野山からの道は厳しかった。帰宅後心配な方に☎ライン☎して無事を確認いたしました。</p> 
<p>7月24日 水</p>	<p>13:00 ～ 14:00</p>	<p><b>診療所内カンファレンス</b>  <b>場所：岡本クリニック 17名参加</b>                  9症例のカンファレンスと経過報告</p> <p>先生は他診療所や病院との関係性をとても大事にしておられることがよくわかりました。患者のこれからどうありたいかをよく聞いたうえで、患者を中心に計画的に医療の関係を築き上げる。例えば、頻回に起こる喘息の高齢患者を診断と治療のために一度入院。退院後は在宅でフォローし、緊急時どうしても診れないときは一度入院歴のある病院に「あの方です。」が通じるような連携をとる。家族にとっても呼吸困難を自宅で見るといふことを理解したうえで対応。すごいですね！</p>
<p>7月25日 木</p>	<p>17:30 ～ 19:00</p>	<p><b>口腔ケア事業 第1回 研修会 口腔ケアの基礎知識（講義）</b>  <b>場所：介護老人福祉施設 やまぼうし</b>                  講師：伊都歯科医師会 伊都歯科医師会 うちた歯科 内田憲二先生                  参加者：合計42名（施設内28名 施設外10名 協力歯科医師4名）</p> <p>内容は7月18日南山苑様と同様です。                  予定数を上回る参加者で、急遽会場を広いところに設営していただきましたが、満席でした。                  勤務終了後の座学1時間半で少し長いかと思いましたが、雑学を入れながらの話に7回は大笑いしてしまいました。                  参加者の方にこんな笑顔で「口腔ケアはまず関係性を作って・・・楽しく美味しく食事ができる。」と先生の思いが伝わる講義に拍手喝采でした。</p> 